
threeGAME

売りもの

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

threeGAME

【Nコード】

N5216L

【作者名】

売りもの

【あらすじ】

ある部屋に集められた人々。
そこにあるのは、

見えない。

聞けない。

触れない。

の三つだけ。

誰も助けはいけない。
誰も助けはくれない。

中学二年生のある朝から脱出ゲームが始まる！！

脱出ゲーム

朝。

いや、それは朝とは呼べないくらい、暗い「あさ」だった。

見えない。

聞けない。

触れない。

人間の五感を遮る、まるで、できないのではなくさせないかのよう
な。

中学二年生の俺にしてもわかる。

この「恐怖」という感覚。

密室？

いや、決めつけてはいけない。

決断はときに更なる恐怖へと変わる。

身の安全。

保証はない。

ましてや命さえも・・・

恐怖は増してゆく。

「一人、か？」

コダマもしない。声はそこで、一つ途切れる。

誰も助けてはくれない。

光。ただ一筋に。俺を照らす。

「！」

一瞬だけ。光の向こうに人が見えた。十人。たぶん。

「誰がいる！？」

あちらは声を出さない。いや、出せない。だって、

見えない。
聞けない。
触れない。

なのだから。

必死に足掻こうと、決死に頑張ろうと、待ち受けるのは

「死」。

見えない

暗い部屋で何時間かを過ごした。

歩けるだけ歩いて探索したが、何一つ見つからなかった。

いや、見つけられるはずがない。

見えない

のだから。

光のないこの世界にいたい何のために放置されている？
いたい何のためにおかれている？

無駄な考えは捨てよう。

無駄な足は止めよう。

叫んでも無駄。

耳を棲ましても無駄。

目を懲らしても、無駄。

「せめて、星の一つでもあったら・・・」

そう考えていると、また光が差してきた。

今度は部屋いっぱい。

「超音波をはずしました。」

どこからか、合成音声。

部屋にコダマしていて、よく聞き取れない。

それと同時に、先ほどの十人が見えてきた。

「新入りか？」

その内の背の高い男が言う。

「残念だ。もう少しやりがいのある奴ならよかったのに。」
残念とは失礼な。

一人のメガネが言ったことに反発したくなる。

しかし、止めておいた。

せっかく会えた人々だ。そう簡単に捨てられない。

やっと、見えた。

脱出の鍵。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5216/>

threeGAME

2010年10月8日22時50分発行